

天若湖アートプロジェクト 2008

あかりがつなく記憶

が開催されました

「あかりがつなく記憶」は天若湖湖面に水没した集落の灯りを一夜に限り再現する、毎年恒例のイベントです。本年は、宮村地区・世木林地区・沢田地区・楽河地区の集落が湖面に再現され、過去最大の規模となりました。

天若湖周辺が夕刻から夜に向かい、ゆっくりと暮れる午後7時半頃から、貯水池に設置された灯りが一つ二つと灯り始め、午後8時前には4集落すべての灯りが確認できるようになりました。



世木林地区・宮村地区の灯り

当日は京都市内からのツアーバス、湖岸を観覧する周遊バスも準備され、多くの方が観覧されました。

一夜限りの幻の風景・・・楽しんでいただけたことと思います。

今回のイベントの灯りは、事前に申し込みを募った小中学生とご家族により組み立てられました。また、観覧会場として解放した世木林の管理用道路に設置した、牛乳パックをリサイクルした足下灯にも思い思いの絵を描いていただきました。



湖面灯りの製作



牛乳パックをリサイクル・・・足下灯